

# 平成26年度計画の概要

## 平成26年度計画の構成

※(表中の<>内は目標指標)

### 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

#### 1 市立病院として担うべき医療

##### □救急医療

・重症患者、地域医療連携医療機関からの救急要請、当院での専門医療を必要とする患者は断らない方針 <救急搬送応需率、救急搬送入院患者数>

- ・救急患者受入れのための病床の一元管理
- ・救命救急センターでの救急患者の診療体制の整備
- ・外因性疾患の三次対応患者の受入れ体制づくり
- ・新病院の集中治療部門の運用体制にかかる構想策定

##### □小児医療・小児救急医療・周産期医療

- ・小児専門疾患の積極的な受け入れと、慢性疾患治療の充実
- ・総合周産期母子医療センター・地域周産期母子医療センターとの機能分担と連携
- ・小児救急医療体制の充実、スタッフの育成

##### □感染症医療、災害その他緊急時の医療

- ・新型インフルエンザ指定地方公共機関として業務計画を策定
- ・災害時の事業継続計画を策定

#### 2 高度専門医療の提供

##### □がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応

- ・大阪府がん診療拠点病院としての専門医療の提供
- ・地域がん診療連携拠点病院の指定をめざした活動の充実
- <がん入院患者数、がん患者化学療法数・がん放射線治療延件数、がん診療地域連携クリニカルパス連携医(診療所)数>

- ・脳血管内治療の増加による脳卒中治療の充実
- ・心臓リハビリテーションチームの設置
- ・心臓血管外科開設に向けた医師やスタッフ確保
- ・糖尿病教育チームによる生活指導

##### □高度で専門性の高い医療提供

- ・新病院での心臓血管外科の開設、病態別医療センター設置の検討
- ・鏡視下手術の適応拡大、膠原病やリウマチ性疾患の診療機能充実

##### □総合的な診療とチーム医療の推進

- ・チーム医療として周術期医療に関する活動を開始

##### □専門性及び医療技術の向上

- ・学会、発表会への積極的な参加や専門資格取得を推進

##### □臨床研究及び治験の推進

- ・各部門の治験受託を促進する活動
- <治験実施件数、治験実施に係る受託金額>

#### 3 安全・安心で信頼される医療の提供

##### □医療安全対策等の徹底

- ・患者誤認ゼロのための多面的対策の実施
- ・病棟薬剤師による入院患者への薬剤管理指導の充実 <薬剤管理指導延件数>

##### □患者の視点に立った医療の実践

- ・負担の少ない鏡視下手術の拡大、日帰り手術や立ち会い分娩の推進

##### □医療の標準化と診療情報の分析による質の改善・向上

- ・クリニカルパスの改定による最適化されたパスの使用<クリニカルパス適用率>
- ・クリニカルインディケーター作成、公表に向けた精査・検証

##### □法令・行動規範の遵守(コンプライアンス)

- ・リスクマネジメントの推進、個人情報の適正管理、情報公開

#### 4 患者・市民サービスの向上

##### □患者サービスの向上

- ・病院全体で医療やサービスの質向上に取り組む
- ・患者満足度調査結果を踏まえた改善 <患者満足度調査結果>

##### □誰もが利用しやすい病院づくり(来院された患者が利用しやすい病院づくり)

- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた新病院整備

##### □待ち時間の改善

- ・適切な予約控の運用、紹介患者への迅速な対応
- ・新病院からの分散会計方式導入の準備

##### □職員の待遇向上

- ・総合案内に接遇力と患者対応に必要な知識を兼ね備えた職員を配置

#### 5 地域医療への貢献

##### □地域医療機関との連携推進、地域医療への貢献、人材の育成

- ・訪問看護、在宅医療・介護、回復期医療にかかる施設との連携強化
- <紹介率、逆紹介率>

##### □人材の育成

- ・連携大学院からの薬剤師大学院生の受入れ開始

##### □疾病予防の取組、市民への保健医療情報の発信

- ・新病院での検診機能のあり方について検討
- ・市民公開講座の定例開催
- <市民公開講座等開催回数、参加者数>

### 第2 業務運営の改善及び効率化

#### 1 業務運営体制の構築

##### □質の高い経営、事務経営部門の強化

- ・意思決定・意思伝達のプロセスの定着化
- ・診療科別・部門別分析、他院とのベンチマーク分析
- ・法人運営の中核となる人材の育成、適性に合った配置

##### □業務改善に取り組む組織風土の醸成

- ・業務改善提案制度、予算施策提案制度の活用

#### 2 優れた医療スタッフの確保

##### □優れた医療スタッフの確保

- ・新病院で開設する心臓血管外科等のスタッフ確保
- ・経験や職務能力を重視した採用
- ・多面的な看護師採用活動、地方での採用活動
- <専門看護師数、認定看護師数>

##### □教育研修の充実

- ・医療スタッフの専門資格取得の促進
- ・先進病院への職員派遣、海外派遣研修の実施

#### 3 やりがいを感じる病院づくり

##### □意欲を引き出す人事給与制度の構築

- ・人事評価の試行、制度の見直し

##### □働きやすい職場環境の整備

- ・職員満足度調査を踏まえた改善
- ・新病院での職場保育所整備
- ・職員厚生会事業の実施

#### 4 効率的・効果的な業務運営

##### □組織・診療体制・人員配置の適切かつ弾力的運用

- ・業務の内製化・外注化の適切な見直し

##### □予算執行の弾力化

- ・独法会計制度の活用

##### □医療資源の有効活用

- ・紹介検査、開放型病床の利用促進
- ・新病院で整備する機器の計画的整備

#### 5 外部評価等の活用

##### □監査の活用、市民意見の活用

- ・監事や会計監査人による監査、内部監査の実施
- ・市民意見や院内業務従事者の意見を反映した業務改善

### 第3 財務内容の改善に関する目標

#### 1 経常収支の黒字の達成

- ・新病院建設・移転による影響を考慮した、安定的な病院経営 <医業収支比率・経常収支比率>

#### 2 収入の確保と費用の節減

##### □収入の確保

- ・救急受け入れ件数の維持
- ・紹介患者数の増加、予定入院患者の増加による安定した入院患者の確保
- ・手術室の有効利用、麻酔科医の確保による手術件数の増加
- ・効率的な病床運用による病床利用率の向上
- ・診療報酬改定に対応した施設基準の取得 など
- <一般病床利用率、平均在院日数、診療単価(入院、外来)、手術件数・未収金徴収率>

##### □費用の節減

- ・費用対効果を見極めた職員採用
- ・適切な持参薬管理
- ・事務用品や医療材料等の共同購入
- ・光熱水費の節減
- <後発医薬品採用率・材料費対診療収入比率・経費対診療収入比率・職員給与費対医業収益比率・労務費対医業収益比率>

### 第4 その他業務運営に関する重要事項

#### 1 わかりやすい情報の提供

- 積極的な広報
- ・院外広報誌の発行

#### 2 環境にやさしい病院づくり

- ・電気や空調温度の省エネ設定

#### 3 新病院整備の推進

- 確実な整備の推進
- ・平成27年春開院に向けた、新病院・職員宿舎建設工事の工期短縮

- ・新病院開設に向けた課題への速やかな対応

#### □新病院の機能充実に向けた計画的な準備

- ・新病院に向けた組織改正、計画的な採用・スタッフ育成

#### □救急医療のネットワーク構築

- ・救急医療のネットワーク構築に向けた、関係医療機関の役割調整の場づくり

#### □救急病床からの転床・転院先の確保

- ・救命救急センターからの円滑な転床や転院のための後方ベッド確保

### 第5 予算、収支計画及び資金計画